

(内閣記者会・経済研究会・文科記者会) に貼出

報道資料

平成 28 年 6 月 6 日
内閣官房 産業遺産の世界遺産登録推進室

稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議（第 6 回）の開催について

標記会議を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

1. 開催日

平成 28 年 6 月 8 日（水） 13:00～15:00

2. 開催場所

中央合同庁舎 4 号館 4 階 第 4 特別会議室
(東京都千代田区霞が関 3-1-1)

3. 議題

- ・「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産委員会決議に盛り込まれた勧告に対するこれまでの対応の経過等についての報告 等

4. 取材について

(1) 冒頭撮影

会議冒頭に 3 分程度撮影の時間を設けます。

(2) 会議の結果の公表

本会議は非公開で行いますが、会議終了後に報道関係者に対し、会場にて会議の結果について、事務局より報告いたします（14 時 45 分目途）。

(3) 登録

登録は不要ですが、撮影スペースに限りがあるため、原則として 1 社につき 1 名とさせていただきます。

(4) その他

取材時は、社員証、腕章など身分を証明するものを必ず着用してください。
受付にて名刺を提出願います。

【本件連絡先】

内閣官房 産業遺産の世界遺産登録推進室

担当：宮本、橋本、三浦、米盛

TEL：03-6206-6176

E-mail：sangyoisan.group@cas.go.jp

稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議の開催について

〔平成 24 年 6 月 26 日
内閣官房長官決裁〕

1 趣旨

「稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群を世界遺産登録に向けて推薦する場合の取扱い等について」（平成 24 年 5 月 25 日閣議決定）に基づき、稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群を世界遺産登録に向けて推薦する場合の推薦候補選定等を行うため、稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議（以下「有識者会議」という。）を開催する。

2 構成

- （1）有識者会議は、有識者により構成し、地域活性化担当大臣の下に開催する。
- （2）有識者会議の座長は、互選により決定する。
- （3）有識者会議は、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

3 任務

- （1）稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群について、遺産価値及び保全方策の妥当性の評価を行うこと。
- （2）稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群について、世界遺産登録への推薦候補の選定等を行うこと。
- （3）その他、稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群について、関係機関等に対して、保全方策等に関する専門的助言を行うこと。

4 庶務

有識者会議の庶務は、内閣官房において処理する。

5 その他

前各項に定めるもののほか、有識者会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議委員

五十嵐 敬喜	法政大学名誉教授、弁護士
伊東 孝	日本大学上席研究員、産業考古学会会長
小野寺 英輝	岩手大学工学部准教授
工藤 和美	東洋大学理工学部建築学科教授
工藤 教和	慶應義塾大学名誉教授
後藤 治	工学院大学建築学部教授
佐藤 禎一	国際医療福祉大学大学院教授
島田 精一	日本ユニシス株式会社 特別顧問
下村 満子	ジャーナリスト
杉山 伸也	慶應義塾大学名誉教授
武田 晴人	東京大学名誉教授
中島 秀人	東京工業大学大学院社会理工学研究科教授
野原 佐和子	株式会社イプシ・マーケティング研究所 代表取締役社長
日枝 久	株式会社フジテレビジョン 代表取締役会長
松浦 晃一郎	前ユネスコ事務局長
松尾 宗次	鉄鋼の研究者
松岡 資明	元日本経済新聞編集委員
宗田 好史	京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授
ニール・コソン卿	イングリッシュヘリテージ元総裁 (英国)
マイケル・ピアソン	ヘリテージプランニングコンサルタント (オーストラリア)
ディヌ・ブンバル	イコモス・カナダ会長 (カナダ)